

「経済指標からみる県経済の動向」

平成27年6月公表

平成27年4月の各種経済指標からみる県経済の動向は次のとおりとなりました。

【総括】 県内景気は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかに持ち直している。

【生産動向】 生産動向は持ち直しの動きが弱まっている。

【消費動向】 個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。

【投資動向】 住宅投資は減少傾向にある。公共投資は堅調に推移している。

【雇用情勢】 雇用情勢は一部に厳しさがみられるものの、改善している。

【生産動向】

- ・ 鉱工業生産指数：季節調整済指数の総合平均は3か月連続で前月を下回った。全13業種のうち、7業種が上昇に寄与した。原指数の総合平均は6か月連続で前年を下回った。

【消費動向】

- ・ 乗用車新規登録台数：普通乗用車は7か月ぶりに、小型乗用車は9か月ぶりに、前年を上回り軽乗用車は4か月連続で前年を下回った。合計台数では6か月連続で前年を下回った。
- ・ 大型小売店販売額：全店ベースでは2か月ぶりに前年を上回り、店舗調整済では3か月ぶりに前年を上回った。
- ・ 専門量販店販売額：家電大型専門店およびドラッグストアは前年を上回り、ホームセンターは前年を下回った。
- ・ 消費者物価指数：23か月連続で前年を上回った。

【投資動向】

- ・ 新設住宅着工戸数：持家は2か月ぶりに前年を下回り、貸家は3か月ぶりに、分譲住宅は5か月ぶりに前年を上回った。合計戸数は3か月ぶりに前年を上回った。
- ・ 公共工事請負金額：2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】

- ・ 有効求人倍率：5か月ぶりに前月を下回った。
- ・ 企業倒産：件数は2か月連続で前年を上回り、2か月ぶりに前年を下回った。

経済指標		2月	3月	4月	滋賀県の状況
生産	鉱工業生産指数 (総合指数H22=100)	季節調整済指数 99.8	98.6	95.7	3か月連続で前月を下回る
		原指数 93.7	109.2	96.9	6か月連続で前年を下回る
消費	乗用車新規登録台数	前年同月比(%) ▲15.8	▲13.3	▲19.5	6か月連続で前年を下回る
	大型小売店 販売額	販売額前年比(%) 2.4	▲5.6	4.5	2か月ぶりに前年を上回る
		店舗調整済(%) ▲0.2	▲7.7	2.8	3か月ぶりに前年を上回る
	消費者物価指数 総合平均 H22=100	102.6	102.9	103.4	23か月連続で前年を上回る
投資	新設住宅着工戸数	前年同月比(%) ▲27.6	▲15.5	8.7	3か月ぶりに前年を上回る
	公共工事請負金額	前年同月比(%) ▲2.9	104.0	55.9	2か月連続で前年を上回る
雇用	有効求人倍率	季節調整済 1.00	1.03	1.02	5か月ぶりに前月を下回る
	企業倒産件数	前年同月比(%) ▲37.5	100.0	22.2	2か月連続で前年を上回る

p=速報値 r=修正値

(参考) 先月からの主要変更点

	5月	6月	
総括	県内景気は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかに持ち直している。	県内景気は、一部に弱い動きがあるものの、緩やかに持ち直している。	(据え置き)
生産動向	生産動向は持ち直しつつある。	生産動向は持ち直しの動きが弱まっている。	(下方修正)
消費動向	個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。	個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、持ち直している。	(据え置き)
投資動向	住宅投資は減少傾向にある。公共投資は弱い動きがみられる。	住宅投資は減少傾向にある。公共投資は堅調に推移している。	(上方修正)
雇用情勢	雇用情勢は一部に厳しさがみられるものの、改善している。	雇用情勢は一部に厳しさがみられるものの、改善している。	(据え置き)